

B 3 1 中級～ (PC 実習あり)	プロの技を駆使した特許情報検索実践 実習中心の特許調査スキルアップ講座 新たな特許調査スキルの気づき
講師	酒井 美里 (スマートワークス(株) 代表取締役、元セイコーエプソン(株) 知的財産本部)
日程・場所	東京会場
	11月21日(木)
時間	1日間(10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	http://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	16名(先着順申し込み)
受講料(税別)	20,000円
対象	特許調査担当の中級者
内 容	
<p>弊社の特許情報検索セミナーでおなじみ、酒井講師が行う演習中心の特許調査セミナーです。「B04 プロの技にせまる特許情報検索法」等で学んだ特許調査のスキルを駆使して、実際に自ら特許調査を行い、グループ討論等を通じて調査スキルの向上、理解を深め、プロの技を身に付けて頂きます。</p> <p>普段から特許調査を行っているけれども、もっと調査スキルを究めたい、座学での研修は受けたいけれども、それを実践してみたいという方のご参加をお待ちしております。</p>	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 調査の流れ(復習) 2. 実習要領の説明、グループ分け 3. 演習 <ul style="list-style-type: none"> 【テーマ1】 調査と精度上げの基本/試し検索-分類特定-キーワード抽出 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ポイントの見極め・設定 50文字要約 (個人実習→グループワーク→発表) ➢ 特許分類の特定 (個人実習とグループワーク) ➢ 分類検索からキーワード抽出 (個人実習→グループワーク→発表) ➢ 講師よりコメント 【テーマ2】 特許分類の広がり と 検証。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 試し検索～分類特定 (個人実習→グループワーク→発表) ➢ どの分類を優先する? 分類検証 (個人実習→グループワーク→発表) 4. 応用事例紹介～国内特許調査からの海外特許調査への応用 (FI→CPC) <ul style="list-style-type: none"> ➢ CPCの特定 (対照表、統計的マッピング) 5. まとめ・質疑応答 	

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- ・ 本講座は、各種特許分類の使い分けができるか、「プロの技にせまる特許情報検索法」講座をすでに受講された方を対象としております。
- ・ 商用の特許情報データベース「J P - N E T」による検索実習を予定しております。(PCは当社にてご用意いたします。)
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。